

第2回市民懇談会 / 部会別意見交換会要旨

開催日時 : 平成21年7月14日 19時~21時
開催場所 : 武蔵村山市役所 4階 401大集会室

全体に関すること

主な意見

今の総合計画 - どの都市でも通用する内容ではないか
武蔵村山らしい部分の表現が必要
10年後の村山をイメージしていくなかで、人口などがどのようなことが想定されているのかがわからないと難しいのではないか
開発の抑制なのか 賑わいの創出なのか 緑の保全なのか
各施策事業の進捗率がわからないと、意見を出しにくいのではないか。

- A (都市・生活・産業部会) グループ -

出席者 : 細井部会長・石塚座長・柳下委員・波多野委員・花田委員・林委員
検討内容 : 1 土地利用 (1) 市全体の土地利用 / (2) 都市基盤整備
: 2 産業 (1) 農業 / (2) 工業 / (3) 商業
(4) 観光 / (5) 雇用

1. 土地利用 / (1) 市全体の土地利用

テーマ・都営村山団地について

主な意見

高齢化が進むなか、都営団地のあり方についても考える必要があるのではないか。
公営住宅としてのみ整備していくのか、民間に分譲していくのか

具体的な提案

テーマ

主な意見

具体的な提案

1. 土地利用 / (2) 都市基盤整備	
テーマ	・多摩都市モノレールについて
主な意見	<p>延伸の可能性はあるのか。 現状としては可能性は低いのではないか</p>
具体的な提案	<p>市の活性化や人の動線を確保という点からもモノレールの延伸は重要になる。</p>
テーマ	・3つの核について
主な意見	<p>市内に核となるような場所がないのが問題である。 市内に3つの核がはたして必要になるのか。 地域のバランスという視点からみると中央・東・西ということになるのではないか。 サブ核（西部地区）等については、進捗状況など最新の情報が必要ではないか。</p>
具体的な提案	<p>市の活性化やこれまでの方向性としても3つの核の整備が必要になる</p>
テーマ	・新青梅街道について
主な意見	<p>公共交通の普及も進まないなか自転車は市民の足となっている。しかし、新青梅街道は自転車で走るには危険である。 新青梅街道については東京都に頼る部分になってしまう。しかし、身近な道路についても同様の事がいえる。</p>
具体的な提案	<p>安心して歩行、通行ができる新青梅街道の道路整備が必要ではないか。 市民の生活道路である身近な道路整備が必要ではないか。</p>

2. 産業 / (1) 農業	
テーマ	・ 農地について
主な意見	生産されていない農地があるようだが、そうならば別の利用方法があるのではないか。 秋に向けた休養地であるので、農地として利用されていないわけではない。
具体的な提案	
テーマ	・
主な意見	
具体的な提案	

2. 産業 / (2) 工業	
テーマ	・ 工場の誘致について
主な意見	大型トラックの通れる道路がないため、工場誘致などに繋がっていないのが現状ではないか 市が主体的におこなえることがあるのではないか。
具体的な提案	工業地域としていくための環境整備などが必要になる
テーマ	・ 市の地域ブランド等について
主な意見	市内には様々な工業関連の会社があるが、特に接点はないのではないか。 市がサポートということで援助できる体制をつくってはどうか。
具体的な提案	異業種間交流や市民から意見を募り、市内でアイデア製品や、商品開発などをしてはどうか。 障害者用の椅子、村山大島紬の活用など

2. 産業 / (2) 商業

テーマ・市民ニーズについて

主な意見

イオンモール内の三越の後には、大型電気店の施設になるようである。果たしてそれは市民ニーズにあっているのか。
高齢化などの問題などに対応した商店などの配置があるのではないか。
市内の商業のためには、店舗間競争による活性化が必要ではないか。

提案内容

市民ニーズにあった施設誘致の要請してくることが必要ではないか
半径 250m くらいの場所に日用品などの生鮮三品の店舗が存在できるような環境整備が必要ではないか。(大型商業施設を拠点として、小拠点を点在させる)

テーマ

主な意見

提案内容

2 . 産業 / (4) 観光
テーマ
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

2 . 産業 / (5) 雇用
テーマ
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>
テーマ・
<u>主な意見</u>
<u>具体的な提案</u>

- B (福祉・教育・文化部会) グループ -

出席者 : 原田部会長 (副座長)・井山委員・堀田委員・加藤委員・細川委員・
長田委員・島田委員

検討内容 : 6 . 保健 (1) 健康づくり / (2) 保健・医療制度
: 7 . 福祉 (1) 地域福祉 / (2) 高齢者福祉 / (3) 障害者福祉
(4) 子ども家庭福祉 / (5) 社会福祉制度

6 . 保健・医療 / (1) 健康づくり

テーマ

主な意見

市民保養施設等は良く利用している体育協会等では姉妹都市の栄村等へは、数十人単位で訪れ、歓迎ムードがあり、親切に迎えられている。
特に補助があるので、良い制度である。

具体的な提案

テーマ

主な意見

具体的な提案

6. 保健・医療 / (2) 保健医療制度

テーマ・病院の駐車場について

主な意見

病院に駐車場が少なく、いつも満車状態である。
コミュニティバス西ルートがルート変更になり、病院を通らなくなって不便になった。
大和病院の駐車場は有料で村山病院の駐車場は無料で、病院間のバスが無料で運行している
ので、それらを利用している。

具体的な提案

イオンモールの駐車場は平日には空きがある、病院と共有化等による有効利用を検討する。

テーマ・医療制度について

主な意見

政策の評価の中で、「妊婦健康診査の充実」とあるが、診療代が無料になると聞いたが
本市ではどのように考えているのか。
今年度から妊婦健康診査が合計 14 回無料となる。

具体的な提案

7. 福祉 / (1) 地域福祉	
<u>テーマ</u> ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	
<u>テーマ</u> ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	

7. 福祉 / (2) 高齢者福祉	
<u>テーマ</u> ・高齢化・一人親について	
<u>主な意見</u> 村山団地の高齢化が問題 特に村山団地にはひとり親や外国人が多く、それらの福祉はどうなっているのか。	
<u>具体的な提案</u>	
<u>テーマ</u> ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	

7. 福祉 / (3) 障害者福祉
テーマ ・
主な意見
提案内容
テーマ ・
主な意見
提案内容

7. 福祉 / (4) 子ども家庭福祉
テーマ ・ 子どもの放課後について
<p>主な意見</p> <p>村山団地は3つの学区で構成されている。団地の建替え等で住む場所が変わり、学区が変わる等がある。</p> <p>事例として、小平市では小学生にICチップが組み込まれた物を持って、親が携帯等で子どもの行動等の情報を受けることができるシステムがある。</p> <p>学童クラブは、小学校3年までを対象に有料で午後6時まで預かって貰える。</p> <p>放課後教室は、学校の空き教室を借りて、子供達を預かるボランティアの方が面倒を見ている組織</p> <p>学童クラブや放課後教室等から帰宅時特に冬の時期が心配である。</p> <p>学童クラブは現在10の施設があり、500名が登録しているが、空きが無く、待っている方が多くいる。</p>
<p>具体的な提案</p> <p>高齢化が進行する中、高齢者を利用して、帰宅時の迎えなどが、できるようなシステムづくりが必要である。</p> <p>新しい住人が自治会に加入してくれない、加入してもらえばコミュニケーションが取れるようになれば、村山団地等での孤独死等が減ってくるのではないかと。</p>
テーマ ・
主な意見
具体的な提案

7. 福祉 / (5) 社会保障制度	
<u>テーマ</u>	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	
<u>テーマ</u> ・	
<u>主な意見</u>	
<u>具体的な提案</u>	